

国際教養学部 国際教養学科 【学位授与の方針】

国際教養学部国際教養学科は、定められた課程を修め、以下の学習成果をあげた者に対して学士（国際教養学）を授与します。

<教育研究上の目的(理念・目的)>

国際教養学部国際教養学科の教育目標は、複数の外国語の運用能力を基礎に、言語・歴史・文化・思想・社会に関する学問分野の知見を深め、時々刻々と変化する世界情勢を見極めつつ、能動的に国際協調に貢献しうる国際的教養人を養成することにある。その基礎となる教育研究上の目的は、言語及び国際的教養に関わる学術研究並びにその知見の教育方法の開発である。言語に関わるとは、複数の言語を習得させ、その運用能力を高めることであり、国際教養に関わるとは、広範な分野にわたる多角的学術的課題である。

<学習成果(教育目標)>

1. フランス語・スペイン語・ドイツ語・ロシア語・中国語のうちいずれか一つの言語、および英語について、現実の様々な場に対応できる高度な実践的運用能力を有している
2. 異なる言語文化環境の中で、異なる価値観と生活体験をもった人々と交流・協働し、その文化のありようを客観的に観察・分析することができる
3. 世界の言語と文化の多様性と普遍性を深く認識し、その認識を実際の国際交流の場で生かすことができる
4. 国際交流の基礎となる歴史認識を磨き、現実を深く洞察することができる
5. 正しい批判力をもって現代社会の哲学的課題に取り組み、その成果を人間交流の場に生かすことができる
6. 国際社会が直面する課題を発見・探究し、対話によって解決の道筋を探ることができる
7. 探求すべきテーマを自ら設定して調査を行い、自律的・批判的に考察し、創造的な研究成果を提示できる
8. 自己の適性と社会のしくみを的確に理解し、自己のキャリアの展望をもつことができる